

各 位

会 社 名 株式会社ビズライト・テクノロジー  
 (コード番号 4383 TOKYO PRO Market)  
 代表者名 代表取締役社長 田中 博見  
 問合せ先 取締役経営管理部長 石井 陽  
 T E L 03-4400-6565  
 U R L <http://www.bizright.co.jp>

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、以下のとおり、平成 30 年 5 月 2 日に開示した平成 30 年 6 月期（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

## 1. 当期の業績予想数値の修正（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）

(単位：千円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	253,000	△12,518	△14,234	△14,308	△22 円 61 銭
今回発表予想(B)	244,000	△29,000	△32,000	△32,000	△50 円 57 銭
増減額(B－A)	△9,000	△16,482	△17,766	△17,692	
増減率(%)	△3.6	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 6 月期)	284,595	35,330	36,538	19,491	31 円 46 銭

(注) 当社は、平成 29 年 11 月 18 日付で普通株式 1 株につき 10 株の株式分割を行いました。当期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益を算定しております。

## 2. 修正の理由

前回発表予想と、通期の売上高が下回ることとなった主たる要因は、デジタルサイネージ関連及びハードウェア関連の売上については、比較的順調でありましたが、期末日までに予定されていた比較的大型のソフトウェアの受託開発案件の検収が翌期にずれ込むこととなったためであります。

また、前回発表予想と、営業利益等が大きく異なることとなった主な要因は、前述の通り比較的大型のソフトウェアの受託開発案件の検収が翌期にずれ込むこととなったことに加え、当初お客様と共有した工数見積を超え、多くの工数を要したソフトウェアの受託開発案件が期末近くに発生したこと、さらに、当該超過工数に応じた費用負担を、お客様に十分にご負担いただけなかったことにあります。

なお、上記の予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以上